

ベトナム・ハイフォン市と総合的広域開発について議論 ～「第4回国土交通省・ハイフォン市政策対話」の開催結果～

国土交通省は、3月4日にベトナム北部の同国第3の都市ハイフォン市において、同市における総合的広域開発についてベトナム・ハイフォン市と政策対話を実施しました。

本政策対話では、同市で事業展開する日本企業も参画し、日本企業への支援を要請するとともに、事業環境改善の観点から、各日本企業が直面する問題(道路渋滞、インフラの未整備等)について意見交換を行いました。

国土交通省では、ベトナム北部における交通の要衝であるハイフォン市において、日本企業が参画する総合的広域開発を支援することを目的として、一昨年10月から、ハイフォン市人民委員会と3回の政策対話を実施してきました。

今回の第4回政策対話の概要は、以下のとおりです。

記

1. 日時 平成28年3月4日(金)
2. 場所 ベトナム、ハイフォン(ハイフォン市会議場)
3. 参加者(日本側:約20名、ベトナム側:約20名)
(日側)国土交通省(国際統括室 中見 国際建設産業企画官 他)
日本企業計7社(現地法人を含む。)
(越側)ハイフォン市人民委員会(ソン副委員長 他)
4. 議題 ① ハイフォン市の投資促進策、開発計画等についての説明(ハイフォン市)
② 日本企業が直面する問題についての説明(国土交通省)
③ 日本企業が参画する総合的広域開発についての説明(日本企業)
④ ①～③についての意見交換等

5. 会議等概要

政策対話においては、国土交通省から同市で事業を行う各日本企業が直面する課題について説明するとともに、日本企業から、自らが参画する総合的広域開発について説明が行われました。

意見交換では、特に道路渋滞やインフラの未整備が問題として取り上げられ、同市からは、これらの問題の解決に向け、計画中の橋梁建設を優先的に進めたいとの意向が示されました。また、策定済みの交通マスタープランに基づき、バス等の公共交通システムの整備を目指すことも明らかにされました。

さらに、国土交通省からハイフォン市人民委員会に対して、日本企業の事業への支援を要請し、ソン副委員長から個々の日本企業の具体的な相談を歓迎する旨が表明されました。

今後、開発の具体的な進展や事業環境の改善が期待されます。

(参考)これまでの国土交通省・ハイフォン市政策対話

- 平成26年10月 第1回政策対話(ハイフォン市の公共交通の現状について)
- 平成27年 1月 第2回政策対話(ハイフォン市の公共交通の改善策について)
- 同年 6月 第3回政策対話(日本企業の事業環境改善について)



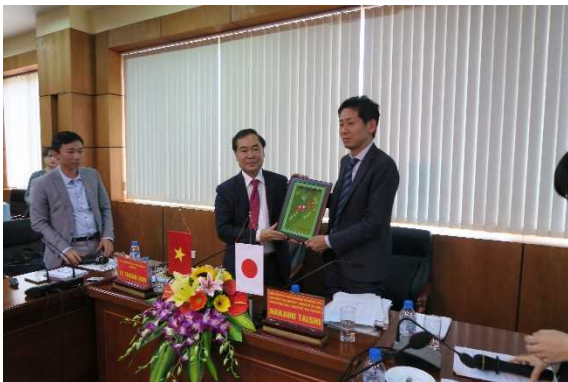
<ソン副委員長開会挨拶>



<中見企画官開会挨拶>



<会議の様様>



<記念品交換>



<意見交換会の様子>

<問い合わせ先> 国土交通省総合政策局国際政策課(グローバル戦略) 岸田、武下
電話 03-5253-8111(内線 25206、25225)、直通 03-5253-8316
FAX 03-5253-1562